

重点施策 4 教育環境条件の整備充実

【施策方針】

- 子どもたちにとってより望ましい教育環境の実現のため、八幡浜市学校再編整備第二次実施計画（令和5年3月改定）に基づき、小・中学校の学校規模の適正化による望ましい児童生徒数による教育効果の向上を図る。
- 科学的な知識、技能及び創意工夫の能力を養うため、理科教育備品の整備を図る。また、引き続き、教材、管理備品、学校図書などの学習環境の整備を図るとともに、健康及び環境保全上の効果を増進する。
- 市内の学校施設の多くは築後30数年が経過し、雨漏り、施設の老朽化、内外装の損傷が著しく、早急な対応を迫られている。
- 経済的な理由により就学が困難な児童生徒等を支援するため、就学援助事業及び育英事業の充実を図る。

【実施状況】

（1）主な施策・事業

- ① 学校再編整備第二次実施計画の推進
- ② 学校施設の整備充実
- ③ 教育機器の整備充実
- ④ 施設の耐震化推進
- ⑤ 長寿命化改良事業の実施
- ⑥ 就学援助事業及び育英事業の充実

（2）施策・事業の実施状況

① 学校再編整備第二次実施計画の推進

ア 園児、児童、生徒数の減少に伴い、学校の小規模化が年々進行しており、学級数の減少や複式の学級編制で取り組む学校がある現状となっている。また、校舎等の耐震化、施設設備の経年劣化問題などを抱えており、安全・安心な教育環境の整備・充実を図ることが継続の課題であり、今後も早期解消に向け取り組んでいく。

イ 中学校の統合については、6月から7月にかけて、愛宕中学校、松柏中学校及び八代中学校の校区において2回ずつ保護者説明会を開催し、概ね保護者からの理解が得られたので、10月25日に対象校区の地域説明会を開催した。その後、3校の統合について本格的に協議を開始するため、12月21日に「愛宕中学校・松柏中学校・八代中学校統合準備委員会」を立ち上げ、様々な項目について協議した結果、令和7年4月1日に現在の八代中学校の場所に八幡浜中学校を新設することについて合意を得ることができたので、令和6年3月29日に「統合合意書調印式」を執り行った。また、小学校については、川上小学校、双岩小学校及び神山小学校の統合を計画しており、その校区内の保護者説明会を実施している。今後も後期計画を基に説明会を実施し、保護者や地域住民の理解が得られるよう丁寧な説明を行っていく。

② 学校施設の整備充実

ア 川上小学校児童用玄関屋根修繕工事 1,298 千円、川之石小学校特別支援学級エアコン新設工事 949 千円等の営繕工事を行った。

イ 神山小学校トイレ洋式化工事 795 千円、千丈小学校トイレ洋式化工事 594 千円、保内中学校トイレ洋式化工事 770 千円を実施した。なお、今後は長寿命化改良工事等の大規模工事に併せて洋式化を推進していく。

③ 教育機器等の整備充実

ア 理科教育備品の整備（小学校）7,707 千円（1/2 国庫補助）

イ 教材・管理備品・学校図書等の整備 21,052 千円（前年度 18,981 千円）
（小学校）12,557 千円 （中学校）8,495 千円 （アの理科教育備品を除く）

④ 施設の耐震化推進

ア 非木造の学校施設については、耐震化率 100%であるため、令和 5 年度は耐震化事業について未実施。

⑤ 長寿命化改良事業の実施

ア 小・中学校長寿命化改良事業

長寿命化計画（実施計画）に基づき、計画的に施設の長寿命化を図っていく。

⑥ 就学援助事業及び育英事業の充実

ア 就学援助事業

要保護・準要保護児童生徒に対し、学用品、修学旅行等の費用の支給を行った。

また、新入学児童生徒に対して支給している「入学準備金」については、平成 29 年度新入学児童生徒分から、入学前の 1 月～3 月に支給を行っている。

イ 育英事業

八幡浜市育英会奨学資金の状況

奨学資金貸与者 0 件

返還者 42 名、返還額 4,540 千円

【事務事業点検評価委員意見】

- 子どもたちは集団の中で、多くの友達の様々な考え方に触れ、多様な人間関係の中で切磋琢磨しながら社会性を身に付けていく。しかし、学校の小規模化が進むと人間関係が固定化したり、新しい友達が増えなかつたりすることから友達関係の中で新たな考え方やものの見方に出会える機会が少なくなる可能性がある。八幡浜市内の全ての子どもに平等かつ質の高い教育を行うためには、学校規模を適正化し、小規模校が抱える学校規模に起因する様々な教育課題を解決することで、全ての学校が教育効果を発揮できるようにする必要があると考える。今後も、学校再編整備第二次実施計画に基づき、子どもたちにとってより望ましい教育環境を提供するという観点から、統廃合や統廃合に伴う通学区域の変更など、学校の再編に取り組んでいただきたい。
- 学校再編は地域社会や市民生活に大きな影響を与えるため、全員の理解を得ることは難しいと思われるが、教育委員会が、教育長のリーダーシップの下、学校再編・統合に関する説明会や八幡浜市ホームページ、広報やわたしはま等を通じて、市民全体への理解を深めるため

に透明性をもって丁寧に情報提供を行っていることを高く評価する。学校再編整備第二次実施計画の後期計画に沿った八幡浜中学校の新設については、保護者や地域の合意を得て進めることができおり、大変喜ばしい限りである。今後も、後期計画を基に説明会を実施し、児童生徒のより良い教育環境の整備について、保護者や地域と議論を深め、理解を得ながら学校の統廃合や通学区域の見直しを進めていただきたい。

- 学校は、児童生徒が一日の大半を過ごす活動の場であるとともに、災害時における地域住民の緊急避難場所である。従って、施設整備に万全を期し、その安全性・利便性を確保することは極めて重要である。特に体育館については、市の指定避難所となっていることから、順次空調設備を設置し、災害時の利便性向上にも配慮していただきたい。学校施設の老朽化等による異常などを早期に見つけるための点検・保守を徹底し、施設を安心・安全に利用できるよう適切かつ計画的な維持補修を施していただきたい。
- 八幡浜市の学校施設は、建築後30数年が経過し、老朽化が進んでいる建物が多いことから、引き続き校地・校舎の維持及び良好な教育環境の保持に向け、必要な改修や修繕を実施していく必要がある。そのため、今後も各学校施設の老朽化等の状態を把握しながら、適宜、改修や修繕を行うとともに、将来、増加が見込まれるこれらの費用の平準化を図るため、長寿命化計画(実施計画)に基づき、施設等の整備や維持に係る取組を推進していただきたい。
- 子どもが成長するにあたって、そこに家庭の生活基盤の影響があると考えられる。義務教育段階においても、家庭の所得格差が子どもの教育の不平等につながってしまうことが懸念されている。今後も、経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、学用品費や修学旅行費、学校給食費等、学校教育に係る費用の一部を支援する就学援助を継続していただきたい。

【自己評価】

- 子どもたちが集団の中で、一人一人の思いや考えに触れ、互いの良さを吸収し合い、切磋琢磨できる教育環境づくりのため、引き続き、学校規模の適正化に向けた取組を進めていく。
- 少子化が進む中、「子どもたちにとってより良い教育環境」を提供するため、八幡浜市学校再編整備第二次実施計画の後期計画に基づき、保護者説明会等を開催し、丁寧な説明を続けながら、学校統合に対する不安や懸念を払拭していきたい。
- 近年、災害級の暑さのため、体育館での活動や部活動等において、熱中症の危険性が高くなっている。空調設備設置については、様々な方法が考えられるが、財政等を考慮しながら、導入について検討していきたい。
- 施設を安全・安心に利用できるよう、限られた予算の範囲ではあるものの、随時修繕等を行っている。八幡浜市学校施設長寿命化計画は、今年度、優先順位や費用の平準化等の見直しを行っている。それに基づき整備を進め、より良い環境下での長期的な使用ができるよう努めていきたい。
- 学校教育法第19条において、「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。」とされており、これからも就学援助を継続していきたい。